

# 自然共生社会の実現を目指す 共創プラットフォーム

佐渡島自然共生ラボ

自然資本が豊かだからこそ経済的な豊かさを  
実感できる地域社会を実現するには？



## 活動事業の概要及び特徴

佐渡島自然共生ラボは、自然と共生する未来を探し、豊かな暮らしを創り出すための共創のしくみで、佐渡市、新潟大学、株式会社NTTデータが共同で2022年に立ち上げました。

さまざまな産業に従事する人びと、企業、自治体、大学などがつながり、自然資源のワズユースと地域のサステナブルな発展を目指し、プロジェクトに取り組んでいます。竹資源活用のほか、海藻の新たな活用可能性の検討、エシカル消費の拡大、地域の自然資源ポテンシャルの可視化などについて、セクターを超えた議論と協働を開始しました。多様な試みを通してアイデアを具体化しながら、イノベーション創出、人材育成、官民連携による政策デザインへとつなげていきます。

## 佐渡島の竹資源活用に向けた共創の場づくり

かつて良質な竹の産地として知られていた佐渡島では、産業やライフスタイルの変化によって放置竹林が急速に拡大し、豪雪時には、雪の重みで竹が倒れ、道を塞ぎ停電を引き起こすなど深刻な社会問題になっています。

佐渡島自然共生ラボでは、竹資源の利活用を考えるプロジェクトを立ち上げ、竹炭づくり、堆肥づくり等、資源活用の可能性を検討しています。また、竹の勉強会も開催しています。2023年度には福岡大学との連携で、佐渡島の竹の土系舗装を試験施工します。



佐渡島自然共生ラボの機能



降雪で道路を塞ぐ竹



竹の集積所



勉強会の開催



竹炭づくり



堆肥づくり

## 佐渡島自然共生ラボ

〒952-0103 新潟県佐渡市新穂潟上1101-1 新潟大学 佐渡自然共生科学センター内  
0259-22-3885 sadolab@sharedmail.niigata-u.ac.jp <https://www.cter.niigata-u.ac.jp/~sadolab/>